

## 第3章 望ましい環境像と基本目標

### 3.1 望ましい環境像

本計画における『望ましい環境像』を、次のように設定します。

#### ◆ 『望ましい環境像』設定の考え方

- 本市は、京阪奈丘陵に連なる甘南備山などの山々と、普賢寺地域の山間部や市内の平野部に広がる農地や里山、そして木津川をはじめとする河川環境など、豊かな自然環境に恵まれています。
- 本市は、宅地開発や都市基盤の整備に伴う人口増加が進んでおり、自然と都市とのバランスがとれたまちです。また、同志社大学、同志社女子大学が立地し、若者の人口が多いという特徴をもつまちでもあります。一方で、本市においても高齢化の進行がみられます。
- 本市は、古くから主要な都市をつなぐ交通の要衝として発展し、歴史と文化が息づくまちとして、一休寺や古墳群などの歴史遺産や文化資源が数多く存在しています。
- このようなまち京田辺に暮らすわたしたち市民、学生、事業者、市（行政）は、一人ひとりが環境に対して高い関心を持ち、協働することにより、これまで育まれてきた環境を守り、次の世代に引き継いでいく責務があります。
- そして、多様な生き物が暮らす豊かな自然環境を守り、自然の恵みを将来にわたって享受できる自然共生社会、また、持続可能で環境への負荷を可能な限り少なくする循環型社会を実現する必要があります。
- 更には、地球環境問題として深刻化する地球温暖化問題についても、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出が少ない低炭素社会を実現することにより、貢献していく必要があります。
- こうしたことから、「○○○○○ ○○○○○ ○○○○○」を『望ましい環境像』として定め、その実現を目指します。

#### 《 望ましい環境像 》

- (案)-1 豊かな環境を育み、自然の恵みを未来へつなぐ、協働のまち
- (案)-2 自然と共生し、豊かな環境を育む、協働のまち
- (案)-3 自然と共生し、恵み豊かな環境を未来へつなぐ、協働のまち
- (案)-4 自然と共生し、協働で持続可能な社会を実現するまち 京田辺
- (案)-5 自然と共生し、協働で豊かな環境を守り育てるまち 京田辺

#### 【 参考\_将来像の設定 】

- ・「緑豊かで健康な文化田園都市」（第3次京田辺市総合計画）
- ・「市民の環で環境を守り育てるまち京田辺」（京田辺市環境基本計画）

## 3.2 基本目標

『望ましい環境像』の実現に向け、次の6つの『基本目標』を設定します。

### 基本目標(1):自然環境

『多様な生き物が暮らす豊かな自然を守り引き継ぎ、人と自然が共生するまち』

#### 背景

- ・本市の理想像として、「田園環境の美しいまち」、「自然が豊かなまち」を挙げる市民の割合が高くなっています。
- ・一方で、荒廃農地の発生や、身近な動物が見られなくなるなど、自然環境の変化がみられます。
- ・また、自然環境の保全に関する市民の意識・関心の低下が懸念されます。
- ・本市では、きょうたなべ環境市民パートナーシップとの協働により、「里山保全活動」を実施しています。
- ・また、関連機関と連携し、外来種対策や動物の愛護及び管理についての取組を進めています。

これらの点を踏まえ、生物多様性が保たれ、本市の豊かな自然環境を保全し、将来に引き継ぐとともに、自然とのふれあいの場や機会を創出することで、人と自然が共生するまちを目指します。

### 基本目標(2):生活環境

『誰もが安全で安心して暮らせる良好な生活環境を築くまち』

#### 背景

- ・本市の理想像として、「安心して暮らせるまち」を挙げる市民の割合が高くなっています。
- ・不法投棄や野焼きに関する苦情が、市民より寄せられています。
- ・また、人口増加や都市化の進展、交通量の増加などによる身近な生活騒音や振動の発生、更に、PM 2.5による大気汚染など新たな環境問題の発生が懸念されます。
- ・本市では、市民一斉清掃の実施や、巡回パトロールの実施、自動車騒音の測定、大気汚染・環境(空間)放射線のモニタリングなどの取組を推進しています。

これらの点を踏まえ、澄んだ空気、清らかな水などが確保され、誰もが安全で安心して暮らすことができる良好な生活環境を築くまちを目指します。

### 基本目標(3):社会環境

『 循環型社会を形成し、環境にやさしいまち 』

#### 背景

- ・本市の市民一人当たりのごみ排出量は減少傾向にあります。
- ・本市のリサイクル率は概ね横ばい傾向にあり、全国平均より低くなっています。
- ・市民のエネルギー問題への市民の関心が高まっています。また、「買い物袋の持参」、「電気の節約」、「再生品・詰め替え品の利用」などの環境保全につながる日常的な行動を実施している市民が増えてきており、「省エネ型機器への切り替え」、「低公害車の導入」、「雨水等の利用」などの省エネルギーのための取組を実施する事業者の割合が増えてきています。
- ・本市では、「京田辺エコパークかなび」によるごみの3Rの啓発活動、「京田辺市分別収集の手引き」の配布によるごみ分別収集の徹底、生ごみ処理容器等設置に対する補助事業などに取組んでいます。

これらの点を踏まえ、廃棄物の発生及び排出を抑制し、資源の有効利用などの取組を進め、持続可能な循環型社会を形成し、環境にやさしいまちを目指します

### 基本目標(4):地域環境

『 都市と自然・歴史・文化が調和し、京田辺らしい風景を守るまち 』

#### 背景

- ・本市には、甘南備山の山並みや普賢寺地域の農山村風景、木津川の河川風景など、美しく多様な景観が広がっています。また、歴史遺産や文化資源が数多く存在しています。
- ・都市化の進展などにより、身近な自然の緑が減少しています。
- ・景観問題への市民の関心が高まっています。
- ・「事業所及び周辺の緑化」などの環境保全のための取組を実施する事業者の割合が増えていきます。
- ・本市では、公共施設敷地への植栽整備や、一般住宅等への生垣設置の奨励、京田辺市市民記念植樹祭等の実施など、すてきなまちなみ支援事業などに取組んでいます。

これらの点を踏まえ、都市化が進展する地域において、身近な緑地などの自然との調和を図るとともに、歴史・文化を守り引き継ぎ、京田辺らしい風景を守るまちを目指します。

## 基本目標(5):地球環境

『 低炭素社会を実現し、地球環境への負荷が少ないまち 』

### 背景

- ・本市の温室効果ガス排出量は減少傾向にあります。
- ・事業者は、市に対し、「太陽光発電などの再生可能エネルギーシステム設置の支援」などの事業活動のサポートを期待しています。
- ・本市では、京田辺市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量の削減、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入促進、緑のカーテンの普及促進などに取組んでいます。
- ・また、きょうたなべ環境市民パートナーシップとの協働により、省エネルギー実践の啓発イベントなどを実施しています。

これらの点を踏まえ、地球温暖化対策、エネルギーの有効利用などの取組を進め、低炭素社会を実現し、地球環境への負荷が少ないまちを目指します。

## 基本目標(6):環境活動

『 全ての人々が参加・行動し、環境を守り引き継ぐまち 』

### 背景

- ・市民は、市に対し、「市の率先した環境保全活動」、「市民に向けた環境情報の提供」を求めています。また、事業者に対し、「市民と事業者が協働した活動」を求めています。
- ・事業者は、市に対し、「環境保全を目的とした事業活動へのサポート」を求めています。
- ・本市では、きょうたなべ環境市民パートナーシップとの協働により、環境フェスタや環境セミナーなどの普及啓発、イベントの開催、環境出前講座などを実施しています。

これらの点を踏まえ、子どもから大人までの一人ひとりが高い環境意識を持ち、市民・事業者・市の全ての主体が連携・協力しながら環境保全活動に参加し、将来の世代に環境を守り引き継ぐまちを目指します。